



⑦阪急 2200—車両アルバム.23—

レイルロード編、発行：レイルロード、発売：文苑堂、A4判 80ページ、定価2300円。
私鉄の電車を愛好している方などから好評を得ているシリーズ本「車両アルバム」の23巻目にあたるもので、阪急電鉄で最初にワンハンドル式の運転台が採用された車両として新たな時代の幕開けを告げた2200系について、その登場から6000系に編入されて活躍を続けている現在までの変遷を、写真を主体に図版も多く収録してまとめた一冊となっています。この類を扱った本では、これ以上のものを望むことができないような内容と質を誇るものです。そのことは、阪急電鉄OBの方々はじめ、阪急電鉄の愛好者の皆さんによってまとめ上げられていることからわかります。
■発売所：〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-35 (株)文苑堂 ☎03-3291-2143

⑧すこいぞ！私鉄王国・関西

黒田一樹著、発行：140B、A5判 248ページ、定価1944円。
関西の大手私鉄には、車両、ターミナル駅、沿線の文化など、それぞれに異なる個性が強く輝いており、それが関西の大手私鉄各社の魅力となっているのかも知れません。本書では、そのような関西の大手私鉄の魅力を著者が独自に見出したキーワードに沿って分析するといった内容の、なかなかユニークな一冊に仕上がっています。ちなみに、そのキーワードとは、阪急電鉄が「創業者」、南海電気鉄道が「バロック」、阪神電気鉄道は「スピード」、近畿日本鉄道は「エキゾチズム」、京阪電気鉄道は「名匠」となっています。
■発行所：〒530-0004大阪府大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 (株)140B ☎06-4799-1340

⑨小田急沿線の近現代史

永江雅和著、発行：クロスカルチャー出版、A5判 176ページ、定価1944円。
小田急電鉄沿線の開発や歴史について、その人々や土地にまつわる話を通じて知ることができる一冊です。これは、本書の著者が教授として勤務している専修大学の講義「現代日本経済史I」向けに作成した講義ノートをまとめたものなので、日本経済史の分野を学生により身近に感じてもらうために、この大学の生田キャンパスの近くを通っている小田急電鉄沿線の地域に的が絞られたというわけです。類書がなく、私鉄、とくに小田急電鉄を愛好し研究する向きにも、格好の一冊として、お薦めいたします。
■発行所：〒101-0064東京都千代田区猿樂町2-7-6 (有)クロスカルチャー出版 ☎03-5577-6707

⑩鉄道ビクトリアルアーカイブスセレクション35 国鉄幹線の記録 上越・信越線

発行：電気車研究会 鉄道図書刊行会、B5判 156ページ、定価1550円、送料200円。
鉄道ビクトリアル6月号別冊、国鉄の幹線の記録として、往年の上越線と信越線を採り上げて、1950～1960年代の「鉄道ビクトリアル」「電気車の科学」に掲載された記事から記録性が高いものを中心に構成してまとめた一冊となっています。

両線ともに、電化のほか、近代化がまっ只中だったころのようすが手に取るようになります。181系や80系などが活躍する姿を、しのぶことができます。
■発行所：〒101-0052東京都千代田区神田小川町3-8 メアリヒト御茶ノ水ビル7階 (株)電気車研究会 鉄道図書刊行会 ☎03-3294-5221 (代)

⑩RM LIBRARY 202 琴平参宮電鉄

宮武治二著、発行：ネコ・パブリッシング、B5判 48ページ、定価1350円。
四国、讃岐の金刀比羅宮の参拝客を輸送するための鉄道として親しまれた「琴参電車」こと琴平参宮電鉄は昭和38年9月に全線が廃止となっていますが、それから半世紀を経た今、「RM LIBRARY」の最新刊に、同電鉄をめぐるありし日の姿が見事によみがえりました。琴平参宮電鉄の個性豊かな車両たちをしのばせる数々の写真とともに、その電車が走る沿線の街並みに目が引き付けられる写真も印象的です。昭和時代に見られた私鉄の貴重な記録の一冊として、これは決定本です。
■発行所：〒153-8545東京都目黒区下目黒2-23-18 目黒山手通ビル (株)ネコ・パブリッシング ☎048-449-6031 (カスタマーセンター)

⑫地図で解明！東京の鉄道発達史

今尾恵介著、発行：JTBパブリッシング、A5判 176ページ、定価1404円。
地図の分野から鉄道の建設に関する事情を解明する著者が、公文書館に収蔵されている資料などとともに、地形図類を多用して、東京の近郊に広がっていく鉄道の歩みを辿ろうとした一冊です。地図をながめながら、各路線に秘められたいろいろな事実の掘り起こし、エピソードなども紹介するといった内容ですので、本書は鉄道史に興味をお持ちの皆さんにお薦めします。
■発行所：〒162-8446東京都新宿区弘方町25-5 JTBパブリッシング ☎03-6888-7893 (営業部直販課)

⑬テツに学ぶ楽しい鉄道旅入門

野田 隆著、発行：ポプラ社、新書判 216ページ、定価842円。
ポプラ新書 092、本書は、平成17年3月に刊行された単行本「素晴らしき哉、鉄道人生」に加筆、修正したうえで新書判の一冊にまとめたもので、極めることの楽しさ、わが道を貫くたくましさに満ちた、さまざまなタイプの鉄道愛好者が、詳しく紹介されています。その行動が一見不可解で不自由に見えてしまう方でも、旅、ひいては人生をお愉するためのヒントを本書を通じて得ることができるかも知れません。
■発行所：〒160-8565東京都新宿区大京町22-1 (株)ポプラ社 ☎03-3357-2212 (営業)

鉄道車両ガイド vol.22

東急デハ3450 半世紀に渡って活躍し続けた東急吊掛電車の代名詞！

発行：ネコ・パブリッシング、B5判 114ページ、定価2700円。
NEKO MOOK 2462、RM MODELS ARCHIVE、機種の車両を製作する方、それ以外にも実車の研究をする方にとって大いに参考になるシリーズ本「鉄道車両ガイド」の新刊にあたるもので、本書は、昭和の初期から年号が平成に変わったころまで、長きにわたり活躍を続けた東京急行電鉄デハ3450形に関する資料として、非常に貴重の一冊にまとまっています。デハ3450形は製造所、更新工事の内容により、とくにその晩年には両1両形態が異なるといっても過言ではないほどにバリエーション豊かな陣容となっていました、それらの形態を写真や各種資料により把握することができる、ありがたい内容になっています。平成10年、北川俊一氏が自費出版により発行された写真集「池上線 目蒲線」の巻末に、氏の地道な調査によりデハ3450形の形態が細かく分類された資料が載っていますが、その資料も引用の許諾を得たうえで収録するといった念の入れようで、そのことに対しては頭の下がる思いです。

